

3年学年だより

吹田市立第二中学校 第三学年
平成29(2017)年6月30日(金)発行
No.12

観劇中のルール・マナー

はじめましての劇団四季！！

初めて劇団四季を観に行くことになったけど、何か暗黙のマナーがあるのでは…！？と心配している人は多いかも。

でも、劇団四季だからと言って特別変わったマナーがあるわけではありません。ですが、最低限守るべきルール、なるべく気をつけたいこと…など、君たちが知っておくべきことをまとめたいと思います。

まずは前回の事前学習でやって、電車でのマナーをおさらいします。

『電車内でのマナー』

- ① **いくつかの車両に分かれて乗車する** → 混雑を避けるようにしましょう。
- ② **リュックなどの荷物は足元に置く** → 混雑時のかばんぶつかり防止です。
- ③ **会話はボリュームを考えて** → まわりのひとに気を使おう。
- ④ **吊り革の使い方** → 正しい使い方をしましょう。

『岸辺駅までの道のり ～班行動の意識を持って～』

学校からはクラスごとに出発しますが、移動中やチェックポイントの通過は班で一緒に行動します。修学旅行ではタクシー研修を班行動で行いました。その時の経験を活かしてください。なんとなく歩くのではなく、班の仲間を意識して歩きます。道に広がっていたら声をかける、ダラダラしていたら声をかける。お互いが気を使い合っている。そんな姿を見せてください。

『大阪劇場に向かうまでに』

駅の構内はたくさんの人が歩いています。急いでいる人、待ち合わせをしている人など。そういう場所を集団で移動する際も、いくつか気をつけるべきことを考えてみましょう。

階段、エスカレーターを使うときには

階段の場合は絶対に走らない。エスカレーターの場合は歩くことも控える。

これは安全を第一に考えての配慮です。特に近くにお年寄りや小さな子どもがいる場合は気をつけましょう。

手すりを使う、一段ずつ上がる。すべては君たちの安全のためなのです。



『いよいよ観劇です！！～まずこれだけは押さえよう！～』

開演前に席に着く

いざ開幕して、「さぁ観るぞ！！」と一気に集中して徐々にお話に入り込んで行く最中に、「すみません、ちょっとすみません…」と遅れて入って来る方が自分の座席列にいたら……。その場合、足をよけて通路を作ってあげなくてはなりませんね。

前後の座席間もそんなに広いわけではないので、そんなにスイスイと進めるわけではないです。よけたり通過するのを待っていたりすると、「大事な場面を見逃した…」ってことになりかねません。

今回は十分に観劇時間に間に合うように、ゆとりを持って出発します。余裕を持って座席を確認し、座れるようにしておきましょう。

因みに、**開場時間は開演 30 分前**です

トイレを済ませたり、観劇に向けての準備をしていると 30 分くらいすぐ経ってしまいますよ。

上演中の私語は厳禁

公演に関係ない話はもってのほかですが、「え？今なんて言ったの？」とか、「今のってどういう意味？」などの会話は、小さな声でも近くの席の人は結構気になってしまうものです。家でテレビやDVDを見ているときなら、いたって普通のことですが、劇場内では極力避けましょう。聞きたいことが出てきたら、休憩中や終演後にしましょう。

拍手・歓声もダメですか？

ミュージカルを観劇したことがある人は分かると思いますが、観客の拍手はとても重要な演出となります。拍手が大きければ、キャストの気持ちが盛り上がり、普段以上の演技をみせてもらえることにもつながります。観客がキャストをのせていくのです。毎日のように演じられているものでも、日によって出来具合が違うなんていうこともあります。それは人が演じている生の良さです。ただし、拍手にはタイミングがあります。いつでも何度でもというわけではありません。不必要な拍手は、演出をこわしてしまう場合もあります。普通、歌の後、幕の終わりなどが拍手のタイミングです。分からない場合は劇場の雰囲気を読み取って、少し遅れてもいいので拍手をしましょう。

前のめりに座らない

これは、実際に体験してみないとピンとこないかもしれませんが、背もたれに背を付けずに前のめりになると、後ろの席の人にとって頭が邪魔になって見つらくなってしまいます。ある劇場では、開演前に係の人がプラカードを持って「背もたれに背をつけ、前のめりにならないように」と注意を呼びかけています。たくさん挙げましたが、どれも劇団四季独特のルールではなく、あくまでも「他の人の迷惑にならないように」という配慮の数々です。劇場に来ている人は皆楽しみにしているのですから、お互い気持ちよく観劇できるように心がけましょう